



# 2025年6月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社W TOKYO（証券コード：9159）

2025年2月14日

# Contents

1

2025年6月期第2四半期 業績概要

2

ビジネスハイライト

3

2025年6月期業績予想と進捗

## 業績ハイライト（前年同期比・業績予想進捗率）

- 前期実施の大型シティプロモーションが当期はなかったことが主要因で減収減益
- 採用等の戦略的な人材投資により販管費全体としては増加しているが、人件費以外の経費は削減

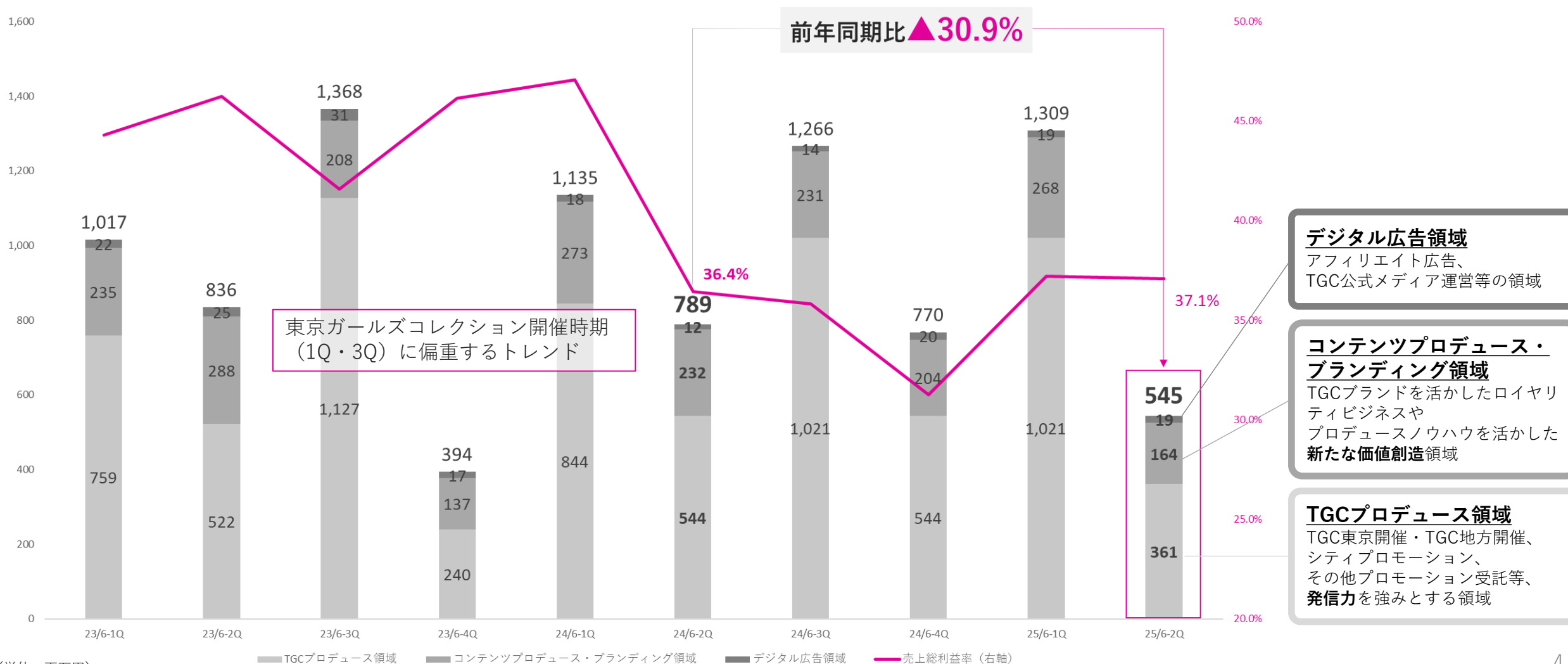
	2024/6期 2Q (2023/7-12)	2025/6期 2Q (2024/7-12)	前年同期比		2025/6期 通期業績予想	進捗率
(単位：百万円)						
売上高	1,925	<b>1,855</b>	▲ 70	▲3.7%	<b>4,192</b>	44.3%
売上総利益	822	<b>689</b>	▲ 132	▲16.2%	-	-
売上総利益率	42.7%	37.2%				
営業利益	333	<b>185</b>	▲ 148	▲44.5%	<b>557</b>	33.2%
営業利益率	17.3%	10.0%			13.3%	
四半期純利益	215	<b>111</b>	▲ 104	▲48.3%	<b>358</b>	31.1%
四半期純利益率	11.2%	6.0%			8.6%	
(参考)						
調整後営業利益*	415	<b>266</b>	▲ 148	▲35.7%		
調整後営業利益率	21.6%	14.4%				
調整後四半期純利益*	283	<b>179</b>	▲ 104	▲36.7%		
調整後四半期純利益率	14.7%	9.7%				

\* 調整後営業利益 = 営業利益 + のれん償却額 + 商標権償却額

\* 調整後四半期純利益 = 税引前四半期純利益 + のれん償却額 + 商標権償却額 - 想定税金費用

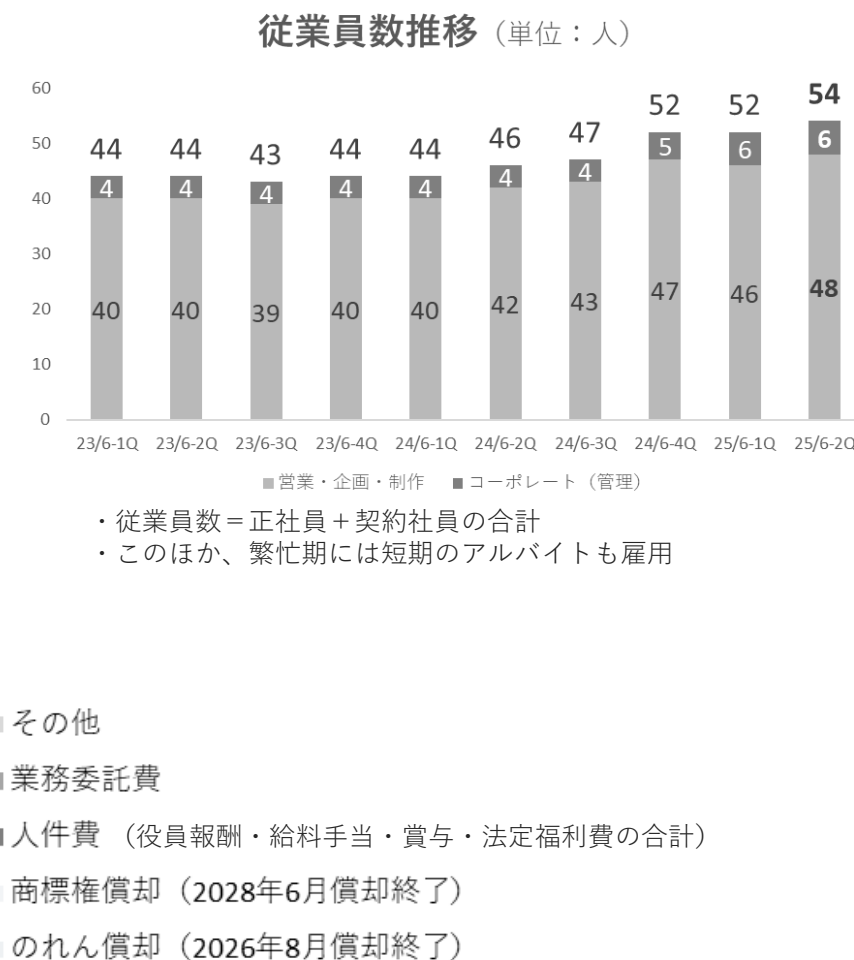
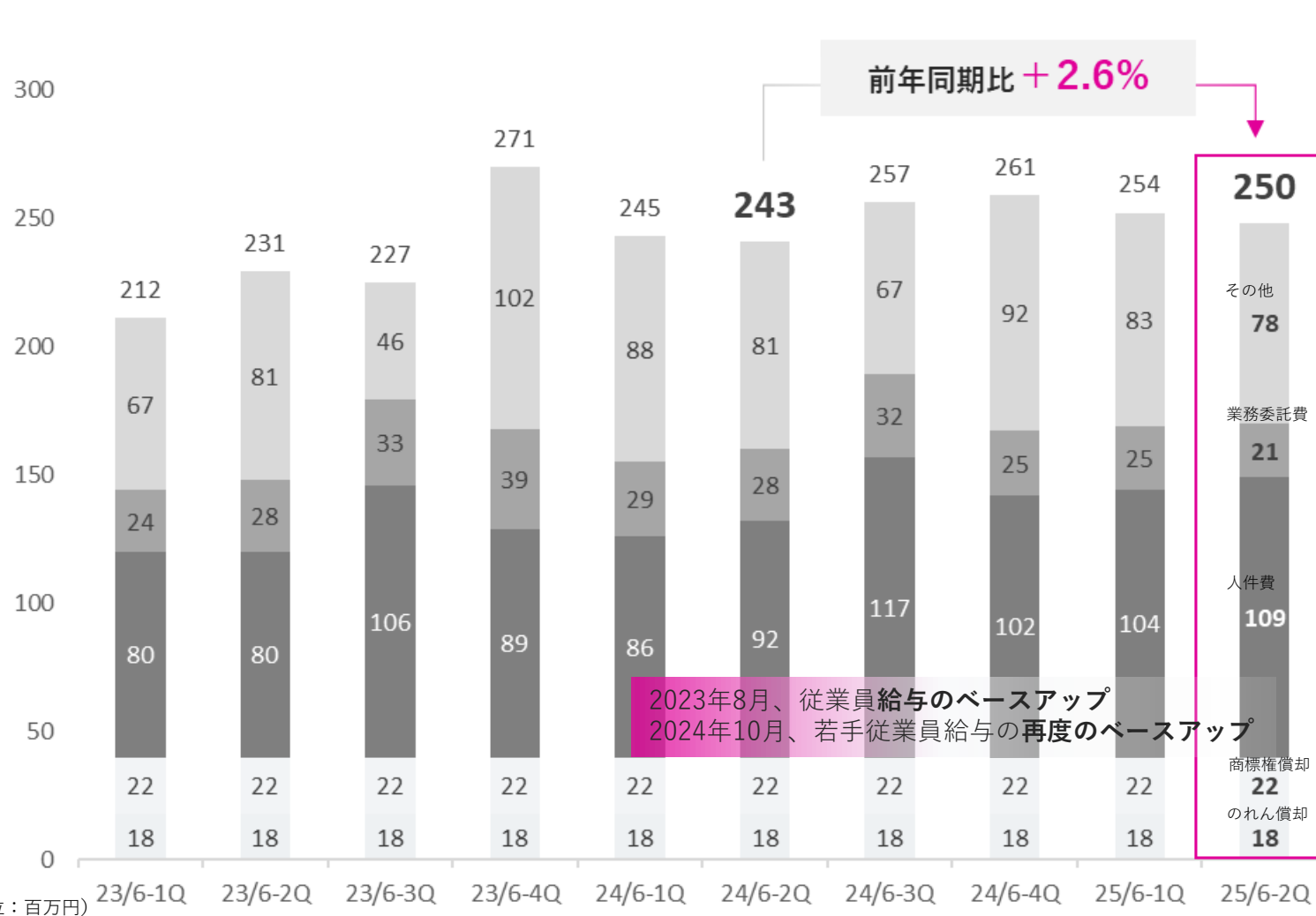
## 売上高の四半期推移

- 前年同四半期開催のシティプロモーション（山梨・一宮）の開催がなかったこと等により前年同期比で売上減少（それらが当期に開催がないことは当期業績予想に折り込み済み）



## 販売費及び一般管理費の四半期推移

- 人員数増加に伴い、人件費は増加
- 外部委託の内製化等による業務委託費その他コストの見直しにより、人件費以外の費用は減少



## 貸借対照表の状況

- 自己株式取得により純資産は減少したものの自己資本比率はなお50%超の高い水準を維持
- 成長投資・人的資本投資等に充当できる資金余力は十分にあり

(単位：百万円)	2024/6期 期末	2025/6期 2Q末	増減		2024/6期 期末	2025/6期 2Q末	増減
<b>流動資産合計</b>	<b>2,431</b>	<b>2,288</b>	▲ 143	<b>流動負債合計</b>	<b>662</b>	<b>556</b>	▲ 105
現金預金	1,930	2,006	75	1年内返済予定の長期借入金	112	102	▲ 9
売掛金	337	121	▲ 216	<b>固定負債合計</b>	<b>783</b>	<b>720</b>	▲ 62
<b>固定資産合計</b>	<b>666</b>	<b>624</b>	▲ 42	長期借入金	783	720	▲ 62
のれん	157	121	▲ 36	<b>負債合計</b>	<b>1,446</b>	<b>1,277</b>	▲ 168
商標権	362	316	▲ 45	<b>純資産合計</b>	<b>1,652</b>	<b>1,634</b>	▲ 17
				自己株式	▲ 0	▲ 143	▲ 143
<b>資産合計</b>	<b>3,098</b>	<b>2,912</b>	▲ 186	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,098</b>	<b>2,912</b>	▲ 186
				自己資本比率	53.3%	56.1%	

TGCプロデュース領域 #TGC地方開催

**TGC KITAKYUSHU 2024 by TOKYO GIRLS COLLECTION**

2024年10月12日 西日本総合展示場新館で開催

- TGC地方開催で**最多8回目**の開催
- 総体感人数 のべ**約158万人**
- 新たな才能を発掘・育成するプロジェクト

『ASOBISYSTEM × TGC KAWAII LAB. AUDITION

2024』を九州エリアを対象に開催することを発表

**TGC**  
KITAKYUSHU 2024  
by  
TOKYO GIRLS  
COLLECTION

TGCプロデュース領域 #シティプロモーション

**さわやか体育祭**

2024年10月24日 スピアーズえどりくフィールドで開催

- 江戸川区 × LDH JAPAN × W TOKYOの連携協定の具体的取り組み第1弾
- 江戸川区 共生社会推進連携事業（区民の健康と生きがいの創出）

**INTERNATIONAL SDGs FES in EDOGAWA**2024年11月2日 開催予定であったが**天候不良により中止**

- 江戸川区 SDGs行動促進事業（世代・国籍を問わずSDGs習慣化を目指す）

**GOTEMBA MIRAI PROJECT 2024 powered by TGC**

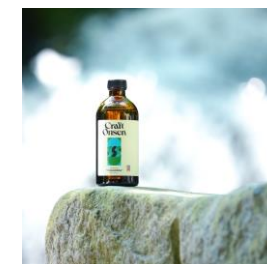
2024年7月～2025年3月 御殿場市

- 10月、“刈って、食べて！ごてんばコシヒカリ体感イベント”開催

**湯河原町プロモーション（クラフト温泉）**

2024年7月～2025年3月

- SNSを活用したプロモーション
- ポップアップ展示・イベント出展



## 株式会社YOAKE entertainment -2023年12月出資

- Sony Block Solutions Labs Pte. Ltd. (ソニーグループ株式会社とStartale Group Pte. Ltd. との合併会社) が開発したブロックチェーン「Soneium」上で、BOBG PTE. LTD.\*が『YOAKEトークン』を発行

\*BOBG社：『YOAKEトークン』の発行および運用を担当し、グローバルな暗号資産取引所への上場や流動性におけるサポート

- YOAKE社主催「IDOL RUNWAY COLLECTION Supported by TGC」(2025年3月2日)の特別投票企画を「Soneium」を活用した『YOAKE SPACE』にて実施



・本決算発表までに公表しているものを掲載。



## 株式会社ネイリー -2024年11月出資

Nailie  
ネイリー

- 資本業務提携契約締結
- ネイリストに直接予約できるネイル予約アプリ『Nailie』を運営するスタートアップ企業
- TGCのオフィシャルビューティーパートナーとして協賛いただき、同社の市場拡大・認知度向上に貢献することで中長期的にシナジーを生み出していく



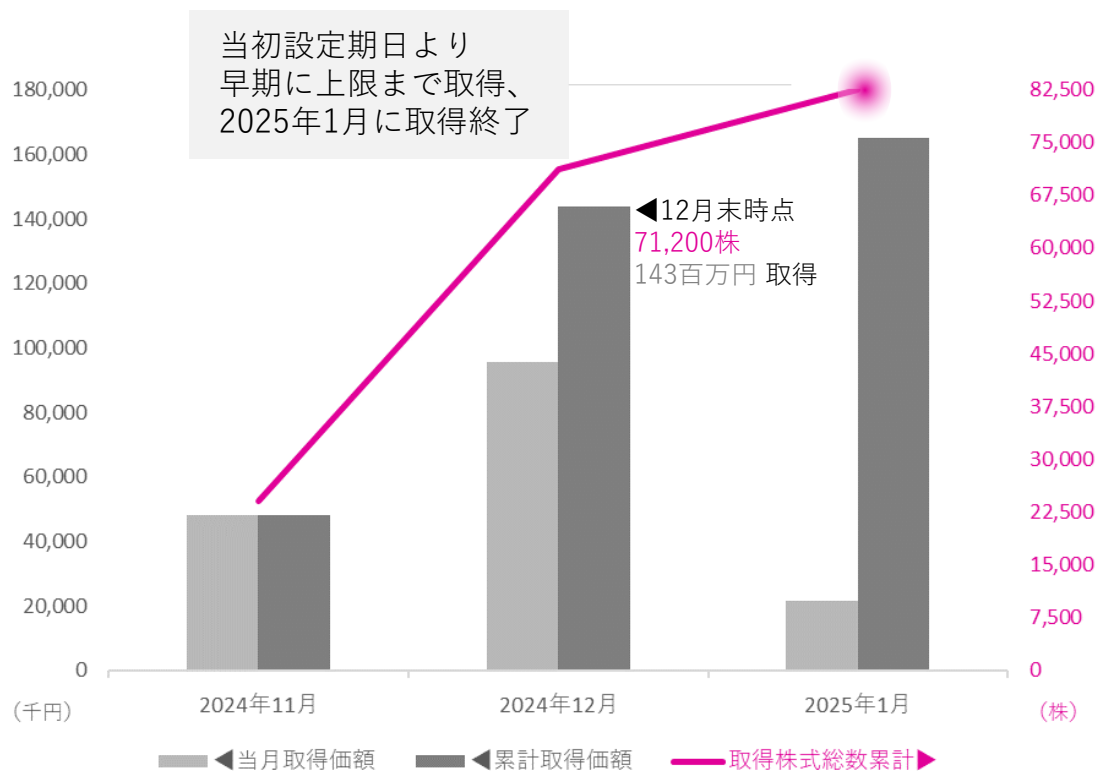


## ■ 自己株式の取得

市場価格等を総合的に勘案し、資本効率の向上を通じた株主利益の向上や将来的な資本政策の機動性確保を目的として実行

### 【概要】

取得期間： 2024年11月15日～2025年1月15日  
 取得株式総数： 82,500株（上限） ▶ 82,500株（100%）  
 取得価額総額： 180,000,000円（上限） ▶ 165,187,400円（91.77%）



## ■ 大株主の状況

当社代表取締役 村上がSO行使等により株式数を増やしなが  
大株主として中長期的に株価にコミットして経営

氏名・名称	2024年12月末		2024年6月末	
	株式数(株)	比率	株式数(株)	増減
1 村上範義	626,200	23.34%	582,200	44,000
2 (株)ディー・エル・イー	370,000	13.79%	370,000	-
3 (株)SBI証券	246,700	9.19%	323,500	▲ 76,800
4 (株)マイナビ	184,000	6.86%	184,000	-
5 (株)トランザクション	150,000	5.59%	150,000	-
6 カルチュア・エンタテインメント(株)	100,000	3.73%	100,000	-
7 (株)ストームレーベルズ	81,600	3.04%	81,600	-
- (株)W TOKYO	71,276	-	43	71,233
8 楽天証券(株)	67,900	2.53%	2,200	65,700
9 個人株主様	53,700	2.00%	58,200	▲ 4,500
10 個人株主様	52,700	1.96%	15,200	37,500

## ■ 株主優待

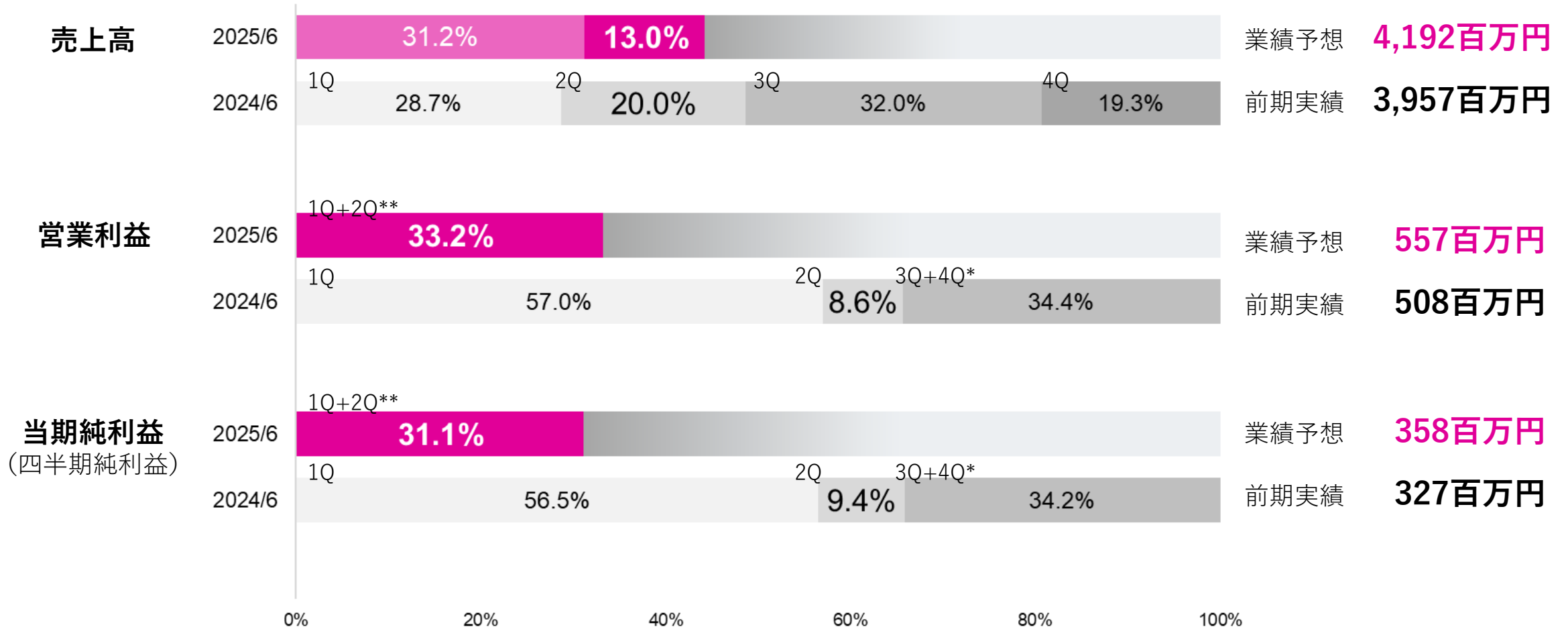
- ✓ 2024年6月末基準日より半年ごとに実施
- ✓ 東京ガールズコレクションご招待ペアチケット（抽選）

## ■ 従業員持株会

- ✓ 2024年9月設立、2025年1月より拠出開始
- ✓ 福利厚生・経営への参画意識向上等を目的として開始

2025年6月期業績予想に対する進捗

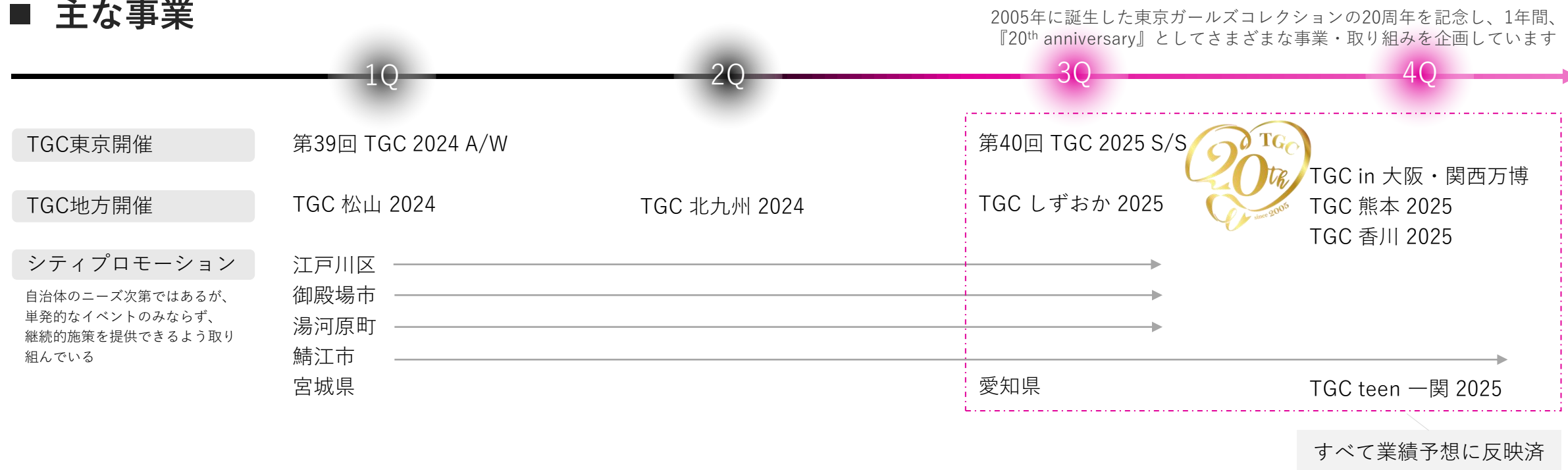
- 上半期に予定されていた事業は計画通りに実行し、通期業績予想に変更はなし
- 今期は大型案件が下半期にやや偏重している



\* 2024年6月期の第4四半期会計期間（2024年4月～6月）は、営業損失・四半期純損失であったため、営業利益・当期純利益欄は3Qと4Qの合算値で示している。

\*\* 2025年6月期の第2四半期会計期間（2024年10～12月）は、営業損失・四半期純損失であったため、営業利益・当期純利益欄は1Qと2Qの合算値で示している。

## ■ 主な事業



## ■ 取り組むべき課題

- 高騰する原価のコントロールと適切な売上単価への反映
- プロデュース機能・企画営業機能を一層の強化するための人員の教育・人材への投資
- 国内外企業・地方自治体との提携先増加による市場拡大

\* 本決算発表までに公表しているもののみ掲載。

W TOKYO